

千葉市要町二一八 (動力車会館)
 (鉄電)二九三五六・(公衆)〇四七二二(七)七二〇七

戦費増大の中曽根を「増税」で打倒せよ!

「戦後政治の総決算」をかかげた中曽根内閣は、八七年度政府予算案の中で、防衛費のGNP比が一・〇〇四とついに一%の枠を取り払い、さらに、大型間接税Ⅱ売上税導入の「税制改革」の名による増税にも踏みきってきた。この攻撃は中曽根が戦争国家へむけて突き進む中で、その財源づくりのための大増税導入である。だからこそ中曽根は三〇六議席のおごりの上に強権をふり回し、他方でベテラン的に労働者人民をだまらかそうとしている。

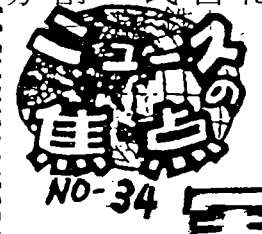
米・ソについて

世界三位の軍事大国に

予算案では、防衛費が三兆五一七四億円が計上され、これによって七六年の三木内閣が軍事費の増大に対しての一定の歯止めとしてきたGNP一%枠の突破は歯止めなき軍拡へと進み三年後の「中期防衛計画」達成時には米・ソについて世界三位の軍事大国にのしあがるという。

また、②に、マル優制度の廃止で金持ち優遇、弱者切り捨てをやり、③に、所得税減税で年収六三〇万円以下の層で負担増となる、などの「悪法」であり、戦車、戦闘機、対潜哨戒機、潜水艦を買いうために五兆円(国民一人四万円)も国民から収よ奪する、これが中曽根のやり方だ。

無限なき軍拡と戦争の道 軍事費1%枠突破・大増税

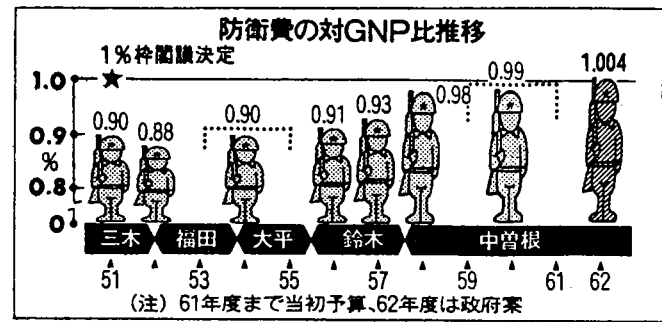


国鉄「分割・民営化」阻止 / 三里塚二期着工粉碎!



不安 (い)か来た道
 防衛費 歯止め外し
 米国の強硬姿勢に歯止め
 日本は強硬姿勢に歯止め
 「増税」で「米国の強硬姿勢」

防衛費は1%枠突破 整備新幹線に建設費
 崩れる財政再建
 算案 予政府案
 総決算費 27兆0813億円



首相施政演説 売上税の「も」も
 実際の負担、結局消費者に
 売上税の主な課税・非課税品目

品名	販売価格	消費税	消費者負担
材木業者	10000円	500円	500円
売りの店	10500円	500円	500円
家具メーカー	12600円	600円	600円
酒屋	14700円	700円	700円
デパートなど	16800円	800円	800円
消費者	800円負担		800円負担

中曽根内閣は、この大軍拡のための財源確保を目的とした大増税「税制改革」をやるうとしている。政府は、①に「大型間接税の導入はしない」との選挙公約を踏みとじり大型間接税の導入に踏み切ったのだ。これは、すべての商品に5%の税率で課税し、その負担を最終的に消費者に押しつけるもので、すでに国民一人あたり年十二万円、四人家族で四十八万円の間接税をとられている。それに加えて、さらに一人四万円、四人家族で年十六万円を上乗せして奪いとりというのだ。

これは戦争と破局へ突進した戦前と同じ「いかした道」である。

中曽根がどんな巧言令色をもってしても、中曽根による大増税攻撃は、大軍拡のための、軍事大国化・改憲のための、日米安保強化のための攻撃であり、防衛費一%枠突破、売上税導入を、そして、戦争国家づくりに反対し、闘う者への国家機密法攻撃を許してはならない。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!